

■ 研究推進委員会 2018 年度 活動報告書

提出日：2019 年 3 月 29 日
 学術委員会承認：2019 年 4 月 10 日

名 称	ランドスケープ教育・国際連携研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：福岡孝則（東京農業大学） tf206471@nodai.ac.jp
幹 事	氏名（所属）：武田重昭（大阪府立大学） 連絡先（e-mail アドレス）： takeda@envi.osakafu-u.ac.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 上原 三知（信州大学）、栗田 和弥（東京農業大学）、西山秀俊（株式会社ブラック）、山田 順之（鹿島建設株式会社）、三島 由樹（株式会社フォルク）、保清人（株式会社 ロスフィー）、鈴木綾（株式会社 あい造園設計事務所）
今年度 活動報告 成果	<p>① IFLA 世界大会および IFLA アジア太平洋地区大会（シンガポール）への参加を通じた若手専門家ネットワークの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> IFLA 世界大会・IFLA アジア太平洋地区大会（共にシンガポール）へ参加し、世界及びアジア太平洋地域の教育・実務者と研究、教育および実務の潮流に関して意見・情報交換等を行った。日本からは多数の研究者・実務者および学生の国際ワークショップへの参加の実現をアシストした。 <p>②日本造園学会全国大会（平成 30 年度）研究推進フォーラム「ランドスケープ教育・研究の国際動向」を開催（5 月 27 日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本における教育や実務の相互連携の可能性、世界の潮流から考える日本のランドスケープ教育・研究の目指すべき方向性や課題について積極的な議論を行った。 発表としては「IFLA ランドスケープ憲章を受けての日本で取り組むべき課題」：上原三知（信州大学）、「IFLA APR における教育水準の共有化について」：武田重昭（大阪府立大学）、「国際的な潮流にみるランドスケープ教育と実務の相互連携推進」：福岡孝則（東京農業大学）、ランドスケープ・アーキテクトから見た学会の役割：保清人（株式会社ロスフィー）を行った。その後、金清典広（ランドスケープコンサルタンツ協会会長）および高橋靖一郎（JLAU 事務局長）を加えてパネルディスカッションを行った。 <p>③IFLA APR2021 東京大会に向けて、日本国内の教育・研究者と多領域にわたる実務者、学生が参加する報告会を JLAU と連携して開催（10 月 20 日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1 部では実務者が主体となり、AAPME アワード IFLA 世界大会における アジア・中東・アフリカのランドスケープ賞）受賞者の金香氏（日建設計）、村田氏（高野ランドスケープ）、上原氏（信州大学）による報告を行い、第 2 部では IFLA 世界大会・アジア太平洋大会参加者によるプレゼン・報告保氏（ロスフィー）、田所氏（NPO フェージョン長池）、福岡（東京農業大学）IFLA 世界大会 学生ワークショップ受賞者によるプレゼン岡嶋氏（工学院大学）を行い、第 3 部では参加者全員によるグループディスカッションを行った。